

授業の具体的展開例

円の中心の見つけ方

- T : 半径や中心という言葉を学習しましたね。
T : 今、半分に折って開いた円の紙を使って、もう一度紙を折ったりして、円の中心を求めるやり方を考えましょう。やり方をノートに言葉でまとめてみましょう。
C : (児童個々に作業)
T : (机間指導；折り方を失敗した児童のために予備の紙を用意しておく。)
T : どんな方法を見つけましたか。
C : 折った紙をそのままにして、もう一回半分に折って開くと「+」のように線が出てきて、その重なったところが中心だと思います。
C : 紙を一度開いて、また別のところで半分に折って開くと「 \times 」のように線が出てくるので、その重なったところが中心だと思います。
T : 本当にその点が中心かどうか調べるには、どうしたらよいと思いますか。
C : その重なったところにコンパスの針をさしてきちんと円がかけるか、調べたらいいと思います。

「活用」の力を育てる評価の工夫

本時のような紙を折る作業では、同時に児童が作業を終えてしまうことで、個々の児童がどう考えて作業をしたのか把握できないことがある。

そこで「ことばの力」育成に関連させて、自分が考えたこと、作業したことを自分自身で振り返り、文章化して言葉で説明させるを取り入れる。

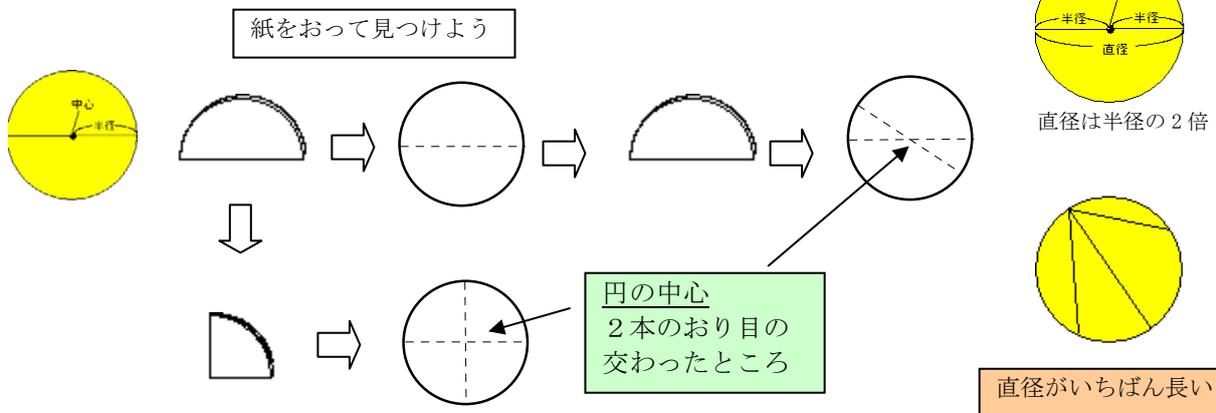
また、児童にとって、分かりやすく説明することも求められ、伝え合うことの大切さを意識することにつながっていく。

授業のワンポイント

児童は、円の中心を見つける方法として、折る方法には気付きにくい。そこで、円を半分に折った形を教師から提示した後、中心を見付ける活動に取り組ませる。その時、半円に折った紙を開かせて、直線が残っていることをよく見るようにさせる。そして、前時の学習内容と比べさせ、「もう一度折って、円の中心を見つけるにはどうすればよいか」と投げかけ、各自に活動させる。

板書例

円の中心を見つけよう



HOME

本時の流れへ

評価問題

CLICK